

令和3年度 第4回 筑後市地域自立支援協議会 生活部会

開催日時：令和4年1月20日（木）13：30～15：00

開催方法：オンライン開催（Zoom）

出席者（事業所）

年輪の園、わかたけ作業所、浩明寮、植田病院
赤坂園、ちくご事業所あいあい、訪問看護つなぐ
自立生活センターちくご、ほがらかホーム、社会福祉協議会
筑後市役所福祉課、ちくたくネット、事務局



★今回は、「AI・ICT の活用について」各事業所の活用状況を事前アンケートにて確認し、情報共有と意見交換目的でグループワークを行いました。

AIとは（Artificial Intelligence＝人工知能）の略。ICTとは（Information and Communication Technology＝情報通信技術）の略。パソコンだけでなくスマートフォンなど、さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称とされています。

★活用例として

・浩明寮からは、「眠りスキャン」の説明がありました。眠りスキャンとは、マットレス等の下に敷いて、人の呼吸や体動により発生する微弱な振動をとらえ、睡眠状態を評価するものです。導入したことで、ベッドからの転倒事故の予防や体調の管理、病状の悪化時などの早期対応が可能になるというメリットがあります。

・年輪の園からは「勤怠管理システム（ICタイムカード）」について説明がありました。カードを機械にかざした時間が、データとしてパソコンに取り込まれます。今まで手作業だった勤怠管理がパソコンで瞬時に確認できるようになり、利用者さんとの時間を大切にすることができるようになりました。

★グループワークでは、各事業所での導入状況や今後導入を考えている機器等について、情報共有と意見交換を行いました。AI、ICT を活用・導入したい事業所は半数以上あり、今後は、気持ちや感情がわかるAI機器があると良い、という意見も出ました。

AI、ICT 活用の背景として働き方改革、人員不足、生産性向上等があります。障害福祉業界でも活用を推進されており感染防止としても注目されています。今後も各事業所がより良い支援を行っていくためにも、AI、ICT の活用について生活部会を中心に検討をしていければと思います。

★最後に福祉課より、厚生労働省が実施されている「障害福祉分野のICTモデル事業」について、費用補助や申請方法等について情報提供がありました。

ICT 導入に係る経費を、上限 100 万円まで助成する制度です。令和 4 年度は就労支援事業が助成の対象になる予定です。